

神崎郡神河町で栽培したゆずを使った加工品の製造・販売

き っ か け



- ◆ 前職はフランス料理のシェフ。援農経験を通じて農業への関心が高まり、菓子や調味料など幅広く加工できるかんきつ類を栽培したいと考えていた。
- ◆ 神河町ではゆずが特産品であると知人から聞いたことと、綺麗な景色に惚れこんだことをきっかけに、神河町への移住を決意。地域おこし協力隊として農業を学んだ後、2025年に就農。
- ◆ 付加価値のある個性的な商品を販売したいと考え、栽培したゆずは、ほぼ全量を加工品の材料として使用。

取 組 内 容



- ◆ 柚子胡椒、柚子果汁、柚子ピクルス、柚子ドレッシングなどを製造し、ECサイト、道の駅、JA直売所などで販売。自らが栽培するゆずは、農薬や化学肥料を使用していない。
- ◆ 「完熟いちじくの美味しさを味わってほしい」との思いから、いちじくの観光農園と直売所を始めたいと考えている。神河町の気候に合った品種を選ぶため、30品種のいちじくを試験栽培中。
- ◆ 花見の時期に、近隣のアスパラ栽培農家と協力し、アスパラの収穫体験と食事会をセットで開催。2025年は約50名の参加者に手製の料理をふるまった。
- ◆ 他者の真似ではなく、シェフのスキルを活かしたオリジナル商品を開発し、差別化に取り組んでいる。



料理のアクセントにピッタリな
柚子胡椒



“目”でも楽しめる色鮮やかな
柚子ピクルス

今 後 の 展 望



- ◆ 地域の皆様が大切にしている文化を守りながら、神河町とゆずのブランド力を上げたい。
- ◆ 自らが、コストに見合った価格で販売する農業経営のモデルとなり、地域の農業の担い手を確保・育成していきたい。

(商品・食事会の画像提供：キニナルファーム)

2026年1月13日調査

キニナルファーム



◆所在地
兵庫県神崎郡神河町

◆お話を伺った方
代表 植木 節

- ◆取組内容
- ・ゆずといちじくの栽培
 - ・ゆずを使用した加工品の製造販売



栽培研究に余念がない代表の植木節さん



お花見食事会で
提供された料理